



絵鳩毅さん神奈川証言集会

私が中国大陸でしたこと

2006.09.18 (月) 14:00~

神奈川県民サポートセンター305会議室

撫順の奇蹟

戦後60年が過ぎて、たしかに戦場での体験者は数少なくなり、その記憶は人々の記憶から消え去ろうとしています。数少ない体験者の中でも、いまでも真実を語る人はなお少ないものです。

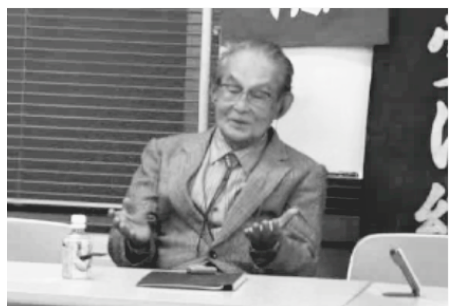
戦後旧ソ連軍に連行されて5年間、極寒のシベリアでの強制労働を体験してさらに6年間、中国に引き渡されて戦犯生活を送った人たちがいました。収容された中国の撫順戦犯管理所では一切の労働の義務はありませんでした。その有り余る自由な時間の中で、戦犯たちは学び、考えま

した。

「死刑にされても文句の言えない」戦場での犯罪を許され帰国して、今年50年が経過しました。いまなお真実を語ってくださる絵鳩さんの証言をぜひお聞き下さい。

絵鳩毅さんは

現在藤沢市在住の絵鳩さんは今年93才になられます。



東大卒業後文部省に入省、高校の教師を経て28才で召集を受けて入隊後、中国戦線に投入されました。最高学府・東大で倫理学を学び、真理を追究する学問を修めてきたはずの絵鳩さんにとっての戦場での痛苦的な体験の証言は、聞く人にとってこれ以上の真実はないでしょう。

併せて、「撫順の奇蹟を受け継ぐ会」結成を呼びかけて、絵鳩さんたちの意志を引き継ぎ、後世に伝えていくために若者たちの代表をつとめ、編集者・ライターで活躍されている熊谷伸一郎さんの報告をお聞き下さい。

日時：9月18日14時より

場所：神奈川県民サポートセンター
(横浜駅西口ヨドバシカメラ裏)
305会議室

証言者：絵鳩毅さん

(元中国帰還者連絡会常任委員長)

報告者：熊谷伸一郎さん

(撫順の奇蹟を受け継ぐ会事務局長)

主催：撫順の奇蹟を受け継ぐ会
神奈川支部

連絡先：逗子市逗子2-11-5-612

松山英司 Tel046-871-4263

参加費：500円(資料代として)

